



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月26日

上場会社名 太平洋工業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 7250 URL <http://www.pacific-ind.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川信也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 渡辺智 (TEL) 0584-93-0117
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	32,144	19.7	1,927	0.6	2,461	3.3	1,830	8.5
30年3月期第1四半期	26,844	8.9	1,915	△5.2	2,384	24.3	1,687	31.9

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 2,050百万円(82.5%) 30年3月期第1四半期 1,123百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	30.37	30.19
30年3月期第1四半期	28.37	27.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	166,044	93,192	55.5
30年3月期	158,858	91,913	57.2

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 92,107百万円 30年3月期 90,940百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	61,000	7.9	4,000	4.0	4,500	△5.1	3,400	△0.1	56.41
通期	125,000	6.1	8,800	9.1	9,800	3.3	7,200	△2.6	119.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社(社名) PACIFIC AUTOPARTS (THAILAND) CO., LTD. 、除外 1社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	61,278,408株	30年3月期	61,268,395株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	1,001,200株	30年3月期	1,001,061株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	60,271,728株	30年3月期1Q	59,498,724株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 【当四半期決算に関する定性的情報】	2
(1) 【経営成績に関する説明】	2
(2) 【財政状態に関する説明】	2
(3) 【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】	2
2. 【四半期連結財務諸表及び主な注記】	3
(1) 【四半期連結貸借対照表】	3
(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】	5
【四半期連結損益計算書】	5
【四半期連結包括利益計算書】	6
(3) 【四半期連結財務諸表に関する注記事項】	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(追加情報)	7

1. 【当四半期決算に関する定性的情報】

(1) 【経営成績に関する説明】

当第1四半期連結累計期間（平成30年4月1日～平成30年6月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が持続し、緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外においては、米国・欧州の経済は緩やかな回復が継続、中国の経済は成長ペースが横ばいで推移する中、世界的な保護主義の台頭等、世界経済の先行きは不透明な状況が継続しております。

このような中、当社グループの主要事業分野であります自動車関連業界におきましては、主要顧客の自動車生産台数は、日本、米国および中国において、総じて前年同期並みに推移しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、新規売上を獲得等により、321億44百万円（前年同期比19.7%増）となりました。利益面では、売上増により利益が増加した一方、戦略的な設備投資による減価償却費の増加や企業買収に伴う費用の発生等により、営業利益は19億27百万円（前年同期比0.6%増）、経常利益は24億61百万円（前年同期比3.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億30百万円（前年同期比8.5%増）となりました。

【セグメント別の状況】

（プレス・樹脂製品事業）

主要顧客の自動車生産台数は、日本、米国および中国ともに前年同期並みで推移しましたが、新規製品の拡販が寄与し、当事業全体の売上高は227億60百万円（前年同期比21.7%増）となりました。利益面では、売上増が寄与し、営業利益は6億52百万円（前年同期比42.4%増）となりました。

（バルブ製品事業）

T P M S 製品および鍛圧製品の販売物量の増加により、当事業全体の売上高は93億32百万円（前年同期比15.0%増）となりました。利益面では、売上増により利益が増加しましたが、企業買収に伴う費用の発生等により、営業利益は12億67百万円（前年同期比13.0%減）となりました。

（その他）

その他は主に情報関連事業等のサービス事業から成っており、売上高は52百万円（前年同期比46.6%増）、営業損失が8百万円（前年同期は営業損失12百万円）となりました。

なお、セグメント別の金額は、セグメント間取引の消去後の数値であります。

(2) 【財政状態に関する説明】

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は1,660億44百万円となり、前連結会計年度末と比較して71億86百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は490億17百万円となり、前連結会計年度末と比較して51億30百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が38億67百万円、たな卸資産が13億50百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は1,170億26百万円となり、前連結会計年度末と比較して20億55百万円の増加となりました。これは主に、連結の範囲に含めたPACIFIC AUTOPARTS (THAILAND) CO., LTD. 向け長期貸付金が内部取引消去により34億45百万円減少した一方、戦略的な設備投資の実施に伴い有形固定資産が57億13百万円増加したことによるものであります。

負債の部では、流動負債は423億34百万円となり、前連結会計年度末と比較して47億99百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金からの振替えにより1年内返済予定の長期借入金が18億99百万円、未払金が21億62百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は305億17百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億7百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金が12億28百万円増加したことによるものであります。長期借入金は主に設備投資資金に充当することとしております。

純資産の部は、利益剰余金が9億26百万円、その他有価証券評価差額金が2億58百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末から12億79百万円増加し931億92百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は55.5%となり、前連結会計年度末と比較して、1.7ポイント減少しました。

(3) 【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】

業績予想につきましては、平成30年4月26日に公表しました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想を据置きとしております。

2. 【四半期連結財務諸表及び主な注記】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,081	17,948
受取手形及び売掛金	17,592	17,661
商品及び製品	3,897	4,358
仕掛品	3,597	4,390
原材料及び貯蔵品	2,040	2,136
その他	2,719	2,566
貸倒引当金	△41	△44
流動資産合計	43,887	49,017
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,943	21,169
機械装置及び運搬具（純額）	27,724	30,470
工具、器具及び備品（純額）	5,763	7,025
土地	5,886	6,553
リース資産（純額）	377	369
建設仮勘定	16,620	16,440
有形固定資産合計	76,315	82,028
無形固定資産	936	899
投資その他の資産		
投資有価証券	28,659	28,370
その他	9,063	5,731
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	37,718	34,098
固定資産合計	114,970	117,026
資産合計	158,858	166,044

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,951	8,617
電子記録債務	7,655	7,992
短期借入金	4,021	4,004
1年内返済予定の長期借入金	4,582	6,481
未払金	4,661	6,823
未払法人税等	991	806
賞与引当金	1,460	784
役員賞与引当金	48	12
その他	6,160	6,810
流動負債合計	37,534	42,334
固定負債		
長期借入金	21,804	23,033
役員退職慰労引当金	206	225
退職給付に係る負債	303	315
その他	7,094	6,942
固定負債合計	29,410	30,517
負債合計	66,945	72,852
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,296	7,301
資本剰余金	7,606	7,610
利益剰余金	61,340	62,266
自己株式	△284	△285
株主資本合計	75,958	76,893
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,768	13,026
繰延ヘッジ損益	-	△153
為替換算調整勘定	1,627	1,751
退職給付に係る調整累計額	585	588
その他の包括利益累計額合計	14,981	15,213
新株予約権	232	232
非支配株主持分	740	851
純資産合計	91,913	93,192
負債純資産合計	158,858	166,044

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	26,844	32,144
売上原価	22,860	27,546
売上総利益	3,984	4,598
販売費及び一般管理費	2,069	2,670
営業利益	1,915	1,927
営業外収益		
受取利息	23	17
受取配当金	254	278
持分法による投資利益	136	224
為替差益	37	65
その他	65	68
営業外収益合計	517	653
営業外費用		
支払利息	48	58
支払手数料	-	56
その他	0	3
営業外費用合計	48	118
経常利益	2,384	2,461
特別利益		
固定資産売却益	-	127
特別利益合計	-	127
特別損失		
固定資産除売却損	19	19
特別損失合計	19	19
税金等調整前四半期純利益	2,364	2,569
法人税等	678	737
四半期純利益	1,686	1,832
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,687	1,830

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	1,686	1,832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42	254
繰延ヘッジ損益	-	△153
為替換算調整勘定	△533	170
退職給付に係る調整額	36	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△23	△57
その他の包括利益合計	△563	217
四半期包括利益	1,123	2,050
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,129	2,063
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	△13

(3) 【四半期連結財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

項目	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	プレス・ 樹脂 製品事業	バルブ 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,695	8,113	26,809	35	26,844	—	26,844
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	88	88	△88	—
計	18,695	8,113	26,809	124	26,933	△88	26,844
セグメント利益又は セグメント損失(△)	458	1,457	1,915	△12	1,902	12	1,915

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・サービス事業等であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額12百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

項目	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	プレス・ 樹脂 製品事業	バルブ 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,760	9,332	32,092	52	32,144	—	32,144
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	75	75	△75	—
計	22,760	9,332	32,092	127	32,220	△75	32,144
セグメント利益又は セグメント損失(△)	652	1,267	1,919	△8	1,911	16	1,927

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・サービス事業等であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額16百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。